

図書館だより

2020 5月22日発行

第 2 号

浜寺中学校図書館 大岡正子

浜中生の皆さん、お元気ですか？今週からやっと分散登校が始まり、皆さんの元気な姿を見ることが出来て、本当に先生たちはうれしくて、逆に私たちが元気をもらえたような気がしています。

図書カードも手元に届きましたね。大阪府内の生徒全員に、本に親しんでもらいおうという取り組みです。今回のコロナ禍で、不自由な思いをしている皆さんへの支援、激励でもあります。

浜中では、全員で**朝読書**に取り組んできました。生徒の皆さんだけでなく、先生たちも同じ時間に全員でチャレンジしています。学校にいなくても、家庭でもこの時期に、図書カードを利用して、本の購入に充ててもらいたいです。「読書メーター」や「アマゾン」のレビューを参考に選んでもいいし、友だちや家族のお勧め本もいいですね。ワクワクしながら本選びをしてほしいです。

今号のメインは**学校図書館の利用**についてです。

浜中図書館は一人3冊2週間の貸し出しをしています。本の貸し出し以外に、実はこんなサービスもあるんです。

どこの図書館の中でも目につく受付カウンターがあります。このカウンターの近くには、必ず専門職である**司書さん**がいて、本の貸し出し・返却の手続きは勿論のこと、調べものに対して、どのような本がいいのかアドバイスする=**レファレンス**を行ってくれます。知ってましたか？レファレンスっていうサービスを。調べたいことの本のリストアップや、実際にある本を選んでくれたりもします。（注意：答えを見つけるのは自分です。即解決、答えを言ってもらえるではありません。）

学校の図書館は**開架式**の図書館ですから、図書の本がずらーっと手にとれるように本棚に整然とならんでいます。それに対して表に出ず、目に入らない書庫にしまっているのが**閉架式**といます。**大阪府立中央図書館**（東大阪市荒本駅すぐ）などは地下書庫に隠し本や貴重本などがあって、貸出の依頼があれば、司書さんが三輪自転車に乗って、電動式の本棚を動かして、本を取り出しては地上の階へと運ばれていきます。開架されている本もあり、その資料の多さはとてつもない量といえます。オオオカも見学に行ったことがあるのですが、三輪車を乗り回っている司書さんの姿は、森の中で宝さがしをするようで、大変でしょうがカッコよかったです。

ちょっと憧れ👁️のオオオカでした。今でも書庫の見学会をやっていると思うので、調べて行ってみてください。手っ取り早くバーチャルツアーもありますが、その広さを実感してほしいです。

では次回は、その大きな森の中からどのように本をつかみ探すのか、というテクニックや昔から工夫された分類の方法で、**本の並べ方**をお伝えしますね。

📖 今月のお勧め映画～オオオカセレクト

「コンテイジョン」2011年アメリカ

これって9年前に上映されたんですよ。それなのに今の新型コロナに向かっている私たちのことを予言したのか？というぐらい、リアルで怖すぎるスリラー映画です。一人の女性が得体の知れない感染症にかかり発病。そして小さな息子へと感染していきます。そして次々に世界中へと…。この恐怖は、今の現実をそっくり移しているようで、ドキドキしながら見入ってしまいます。ワクチンができた段階でも、どういう順番で投与していくのかという命の順番を考えさせられます。

最後の数分間が一番のこの映画の見せ所。映画の最初の場面が、感染した女性の状態が2日目から始まるのに、第1日目の出来事がフラッシュバックするのです。「あ～そうだったのか～！」最後にうなること間違いなしです。見るなら今！旬！という映画です。家族全員で是非どうぞ。